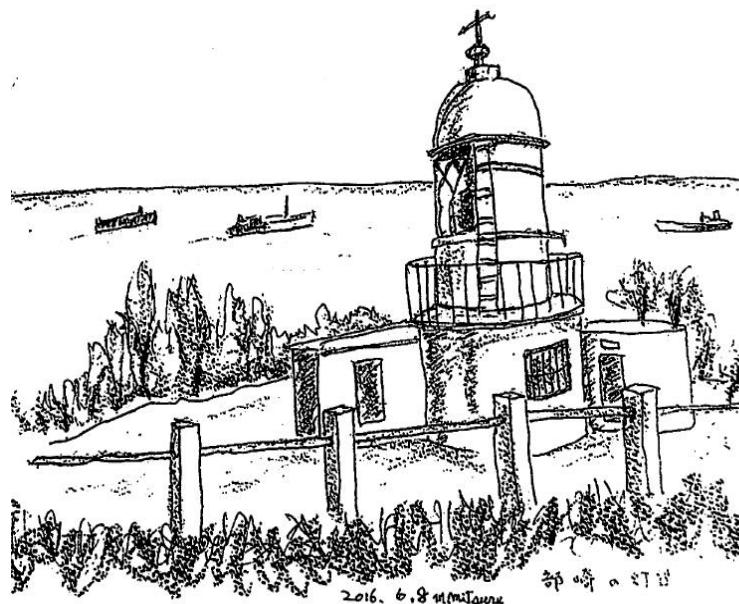


週報2021年5月30日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書4章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年5月30日

司会・奏楽・メッセージ 山崎銀次郎 牧師
(オンライン礼拝) HP アドレス：<http://jesus.holy.jp/>

祈祷	開会の祈り
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和
賛美	コーラス 7「雲が雨で満ちると」
祈祷	*今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*
聖書朗読	ルカによる福音書 19章1-10節
説教題	「人生を変える出会い」
祈祷	御言葉の応答の祈り
祈祷	祝福と派遣の祈り

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

ルカによる福音書 19 章 1-10 節 「人生を変える出会い」

① 大どんでん返し

大どんでん返しという言葉を辞書で調べると「物語や事件の展開が急展開し、大方の予想を覆して驚かせる事を意味する表現」と書いてあります。ルカによる福音書はイエス様に関わる人の「大どんでん返し」が多くみられる書物です。

ザアカイのお話には大きく 3 つの大どんでん返しが書かれています。一つ目は「人を救うのは地位や名誉やお金ではなく神である」二つ目は「どんな人（ザアカイだと（詐称の経歴）でもイエス様によって赦される」そして三つ目は「人の思い描いたストーリーを超えた神のストーリー（展開）がある」です。ザアカイ物語の締めくくり（19：10）はその一つの要約です（この福音書の要約とも言われている）。その要約とは「救いは神から来る」です。

信仰の大敵に、“固定観念”というものがあります。「これがあるから大丈夫」「こんな人（自分）が赦されるわけがない」「人生お先真っ暗」等です。イエス様が来られたのはそれらの固定観念を覆し、人々を大どんでん返しに導くためです。つまり私達は毎日イエス様に出会う必要があります、なぜなら「救いは神から来る」という事を人生で学ぶだめです。信仰の成長はイエス様に対する期待から始まります。

② 人生を変える出会い

ザアカイはイエス様に会うための努力をしました。ここに彼のイエス様に対する熱情が現わされています。つまり「背が低く群衆に遮られて、イエス様が見られない状況の中、木に登ってイエス様を一目見ようとした」という事です。しかしこの話で大切な所は、ザアカイの情熱に勝る、イエス様の情熱です。

イエス様の情熱の矛先は「エルサレムに行く事」です。言い換えると、全ての人の救いの為に十字架にかかる事です。ザアカイの人生は 180 度変えられました。それは彼がイエス様の情熱を知ったからです。ザアカイは大きな神のご計画の中で自分が救いの道に招かれている事を知りました。ザアカイはイエス様の愛によって人生が変えられました。

イエス様の情熱は人を変える力があります。私達を救いの食卓に招くまで、いつまでも導き続けます。これも言い換えると、イエス様は私達を愛し続けます。愛する事を決してやめません。私達の情熱の矛先はイエス様の愛を求める事です。私達は変わることではなく、変えられるのです。人生を変える大きな出会いによって。

③ 失われた人から見つけ出された人へ

ザアカイの出来事を通じて、聖書が読み手に投げかけている質問があります。それは「失われた人とは誰か？」です。ルカが取り扱っているテーマの一つが「自尊心は心の目をふさぎ、真理が見えないようになる」ということです。注目するべきところはザアカイのお話の前にイエス様は目が見えない人の目を見るようになっています。

ザアカイは執着していた金銭を手放しました。この行為は単なる慈善行為や弁償による償いとは異なり、神への悔い改めと、全き献身を表明しています。ザアカイのこの行動は今までの詐称の経歴を帳消しにするものではありません。すでに帳消しにされた事の感謝と喜びを知ってもらう為です。言い換えると、見つけ出してくださったイエス様に対する愛を示したのです。

“失われた人”としての自覚を失うと、途端に人は傲慢になります。律法学者の問題点はそこがありました。私達はイエス様に見つけ出された事によって救われました。自分の身に起こった人生の大どんでん返しは、そのまま周囲の証になります。最後の要約は“信仰の成長とはどれだけイエス様に出会ってきたか”です。共に主を見上げ前進してまいりましょう。